



2018年9月期 第1四半期 決算説明会

2018年2月1日

株式会社セプテーニ・ホールディングス

<https://www.septeni-holdings.co.jp>

Securities Code : 4293

1. 四半期連結決算概要
2. ネットマーケティング事業
3. メディアコンテンツ事業
4. 業績予想に対する進捗状況
5. 補足資料

- 2016年9月期より、従来の日本基準に替えてIFRSを適用しております。
- 従来の「売上高」は参考情報として任意開示とする一方、IFRSに基づく指標として「収益」を開示しております。ネットマーケティング事業の大半を占める広告代理販売における収益は、マージン部分のみの純額計上となります。
- 事業の実態をより適切に表現するため、「Non-GAAP営業利益」を任意で開示しております。Non-GAAP営業利益とは、IFRSに基づく営業利益から、減損損失、固定資産の売却損益等の一時的要因を調整した恒常的な事業の業績を測る利益指標です。
- 本資料の数値は、単位未満を四捨五入して表示しております。
- 従来より各セグメントへ配賦していました全社費用について、2018年9月期以降は配賦を行わない方針に変更しております。当変更に伴い、過年度のセグメント別Non-GAAP営業利益は全社費用を配賦しない基準にて遡及修正しております。

1. 四半期連結決算概要

連結

収益 4,028百万円 (前年同期比 12.3%増)

Non-GAAP営業利益 702百万円 (前年同期比 13.8%減)

四半期連結収益は40億円を超過し、過去最高を更新*

ネット マーケティング 事業

収益 3,805百万円 (前年同期比 10.8%増)

Non-GAAP営業利益 1,470百万円 (前年同期比 0.2%減)

国内・海外ともに堅調に推移し、収益成長率が大きく上昇

メディア コンテンツ 事業

収益 301百万円 (前年同期比 46.5%増)

Non-GAAP営業利益 -303百万円 (前年同期比 110百万円減)

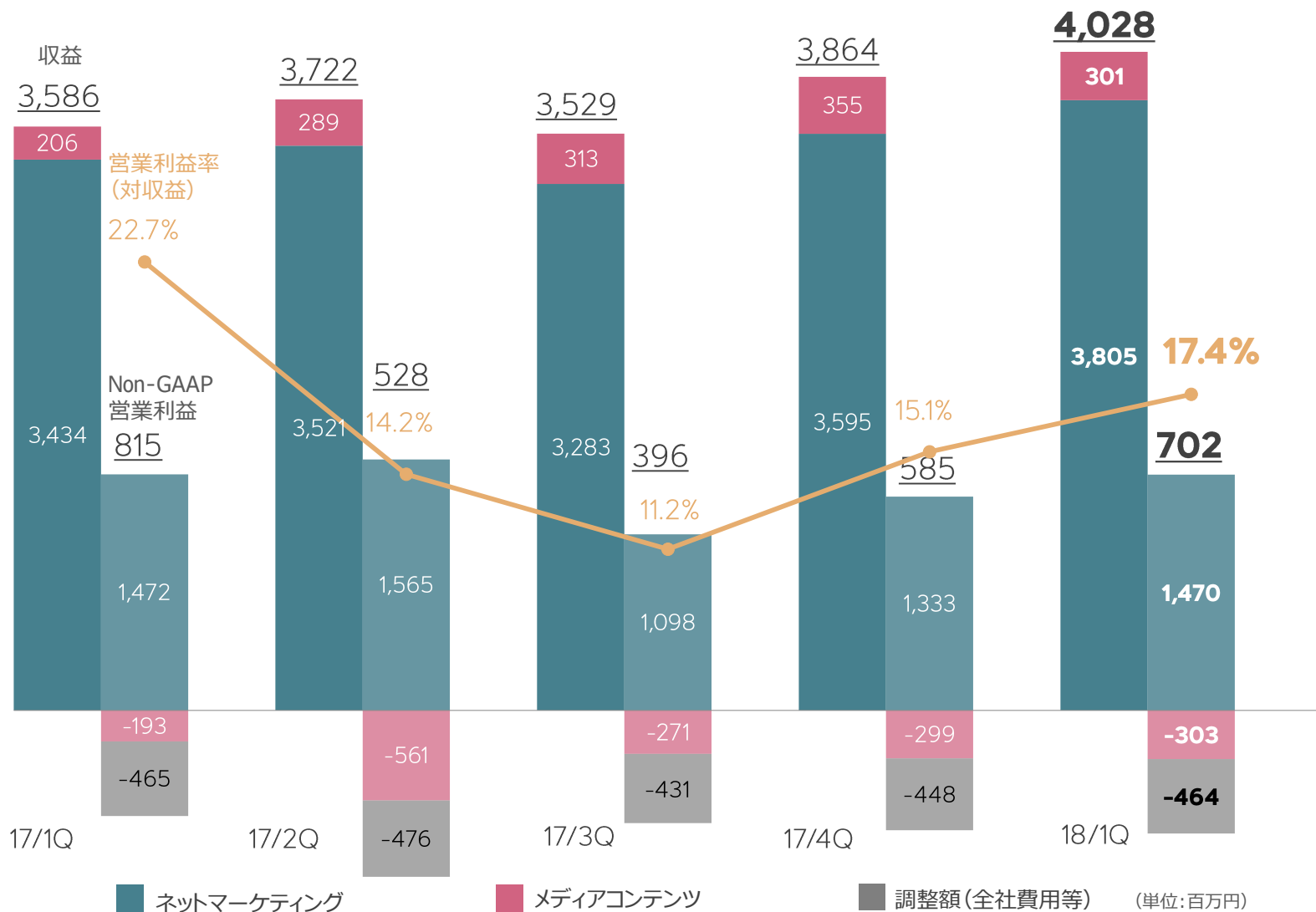
ブランド広告市場の開拓が進み、収益拡大に貢献

※ IFRS適用(2016年9月期)以前はIFRSの「収益」に相当する日本基準の「売上総利益」との比較

- 収益は過去最高を更新し、収益成長率は前年同期比+12.3%に大きく上昇
- ネットマーケティング事業は国内・海外ともに収益が拡大
- 2Q累計業績予想に対して堅調に進捗

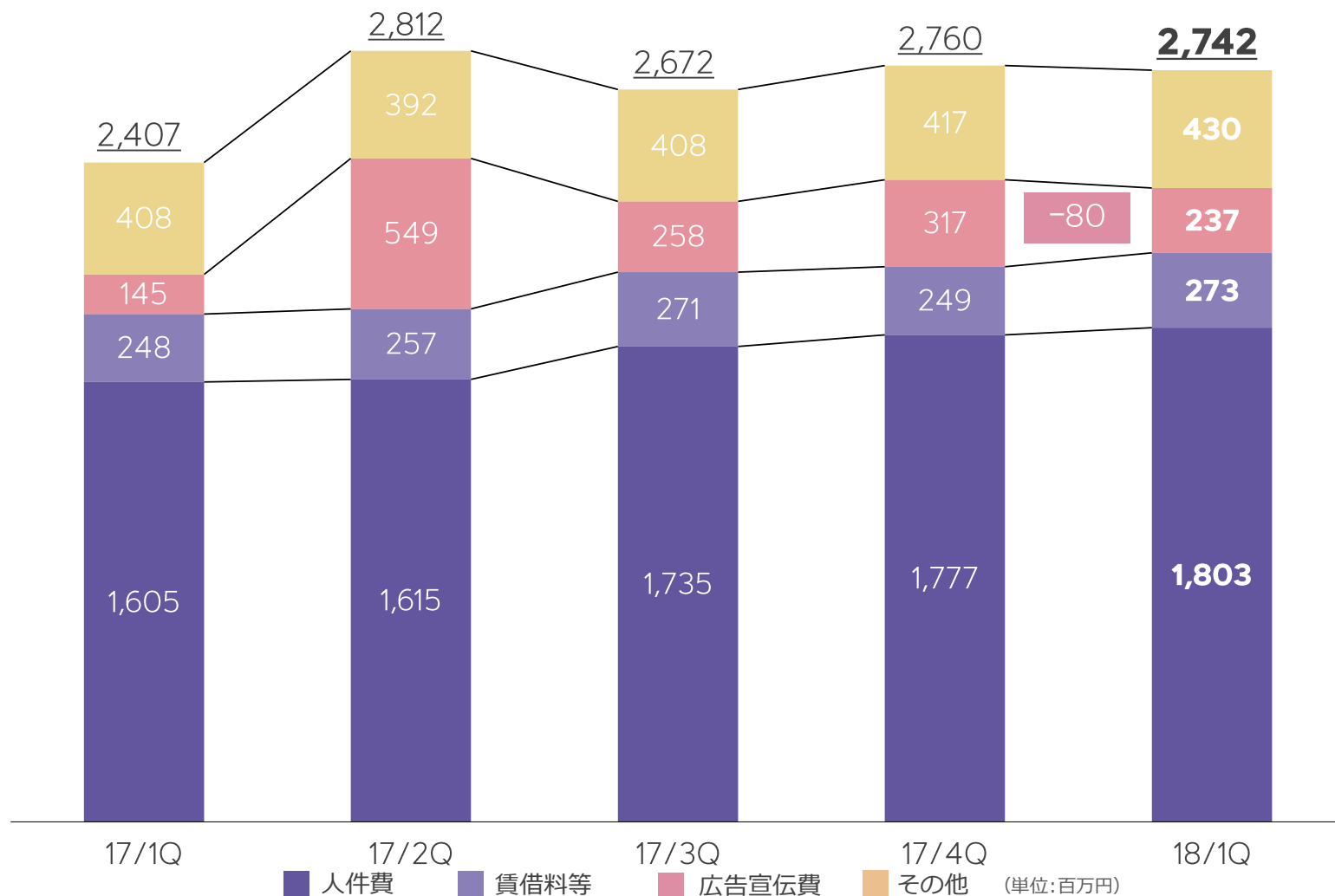
(単位：百万円)	2018年9月期 1Q			2017/9期 1Q		2018/9期 2Q累計 業績予想	進捗率
	金額	比率	前年同期比	金額	比率		
収益	4,028	100.0%	+12.3%	3,586	100.0%	8,000	50.4%
売上総利益	3,444	85.5%	+6.9%	3,223	89.9%	—	—
販売管理費	2,742	68.1%	+13.9%	2,407	67.1%	—	—
Non-GAAP 営業利益	702	17.4%	-13.8%	815	22.7%	1,000	70.2%
営業利益	694	17.2%	-9.9%	771	21.5%	—	—
継続事業からの 当期利益	555	13.8%	3.3%	537	15.0%	—	—
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	555	13.8%	-60.6%	1,410	39.3%	600	92.5%
【参考】売上高	18,665	—	+1.2%	18,448	—	37,500	49.8%

● 人材やメディアコンテンツ事業への投資を実行するも、営業利益率は上昇基調



※セグメント間収益の消去分の記載を省略しているため、各事業収益の合計と連結収益(下線付数値)は一致しない
 ※2018年9月期より各セグメントへの全社費用の配賦方法を変更したことに伴い、過去数値を遡及修正

- マンガコンテンツ事業におけるプロモーションを中心に**237百万円**の広告宣伝費を計上
- 人件費の増加は、前年同期比**175名**の人員増及び、人事制度改定に伴う給与増によるもの

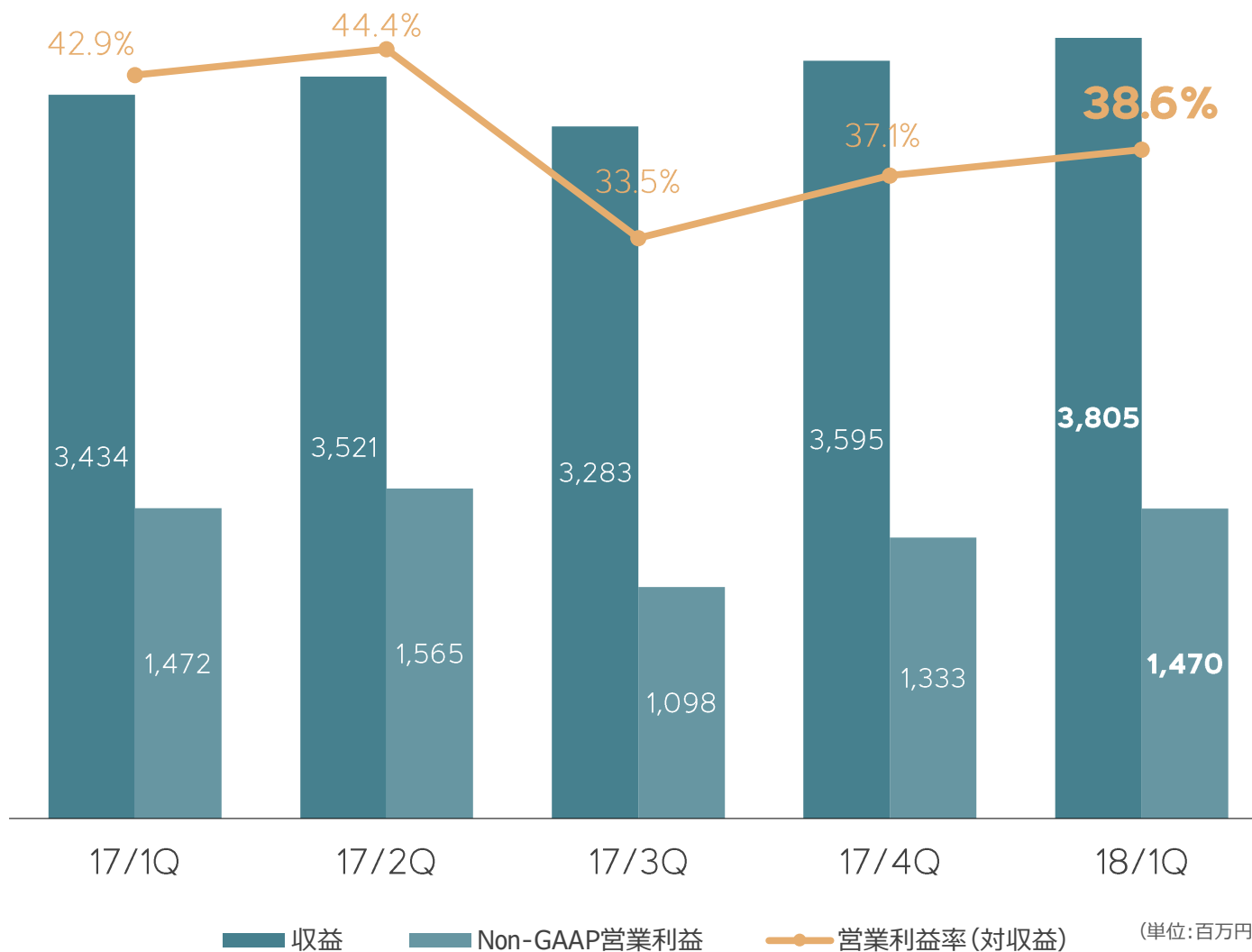


2. ネットマーケティング事業

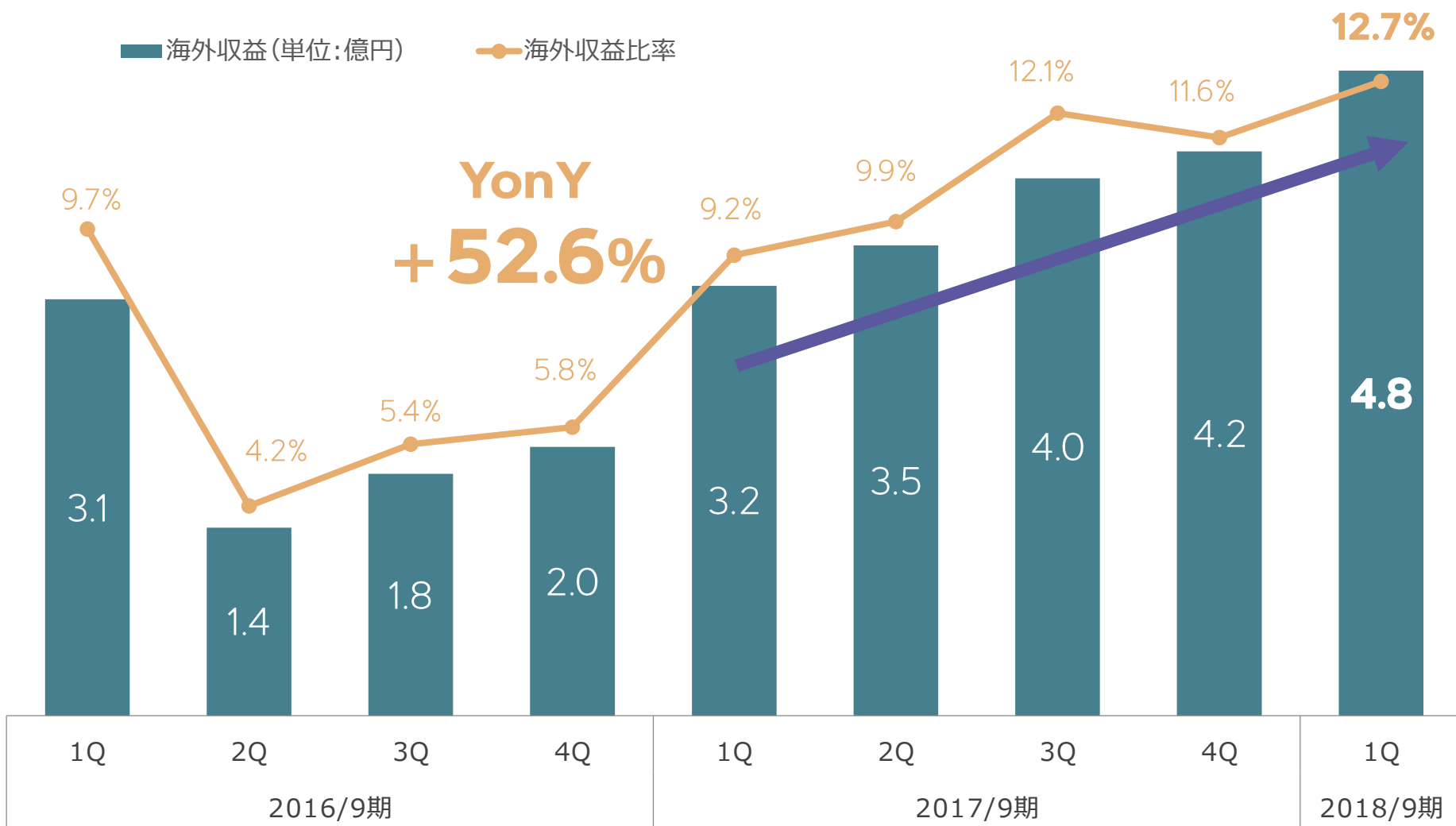
- 積極的な営業活動を展開し、収益は前年同期比**10.8%増**
- 動画広告取扱高、海外収益の拡大が寄与
- 顧客・商品ミックスの改善に取り組み、収益性が向上
(対売上高収益比率は前年同期**18.6%から20.4%に向上**)

(単位：百万円)	2018年9月期 1Q			2017/9期 1Q (前年同期)		2018/9期 2Q累計 業績予想	進捗率
	金額	比率	前年同期比	金額	比率		
収 益	3,805	100.0%	+10.8%	3,434	100.0%	7,370	51.6%
売上総利益	3,356	88.2%	+6.6%	3,150	91.7%	—	—
販売管理費	1,885	49.5%	+12.3%	1,678	48.9%	—	—
Non-GAAP 営業利益	1,470	38.6%	-0.2%	1,472	42.9%	2,650	55.5%
【参考】売上高	18,682	—	+1.4%	18,432	—		

- 前年同期比・前四半期比で増収、Non-GAAP営業利益率も前四半期に対し**1.5pt**向上

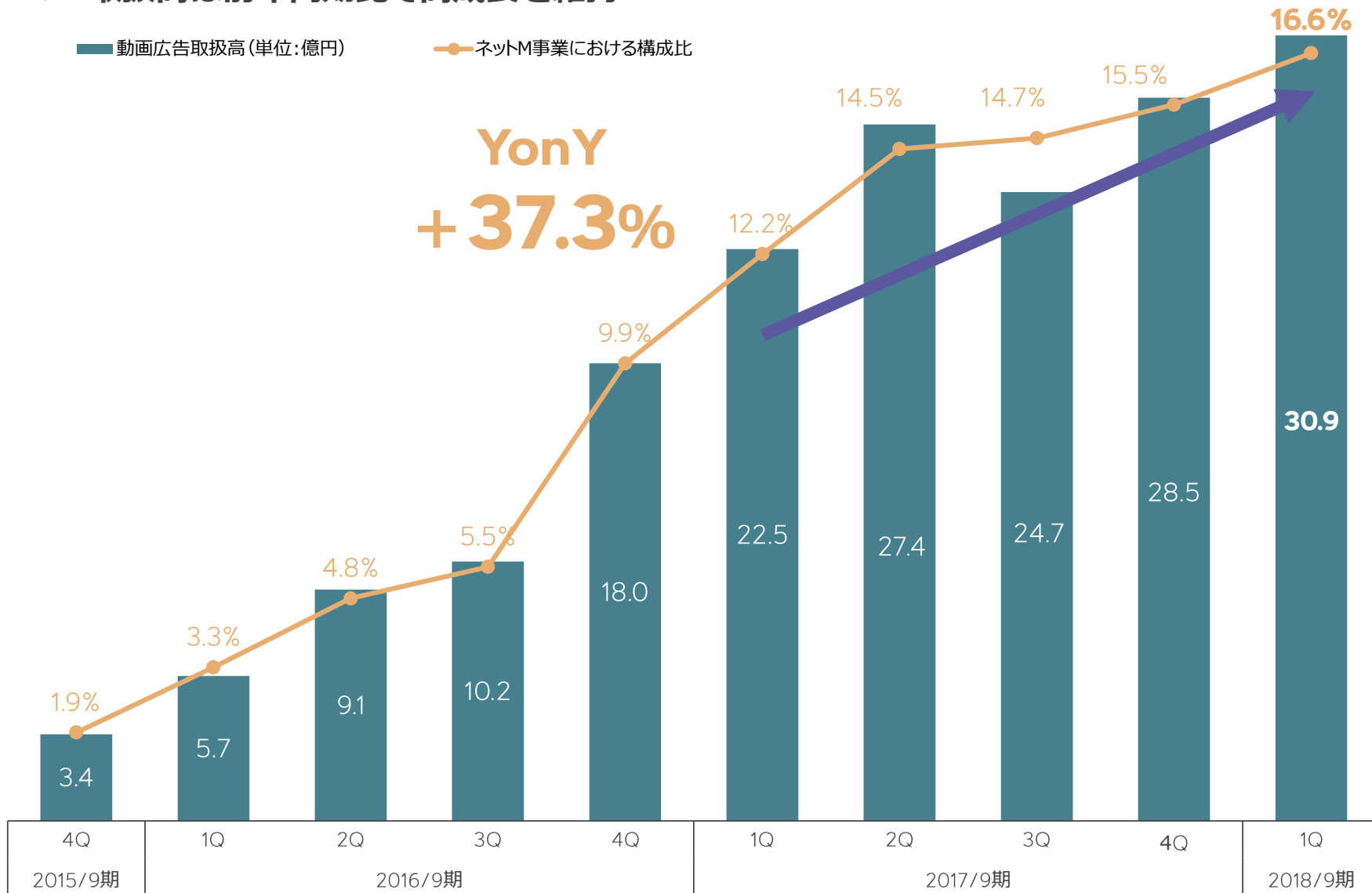


- 引き続き、アジア圏を中心に収益が拡大し、収益比率は過去最高を更新



※海外収益の定義: 海外顧客による日本国内への出稿案件 (Out-In)、海外顧客による海外への出稿案件 (Out-Out) における収益を集計

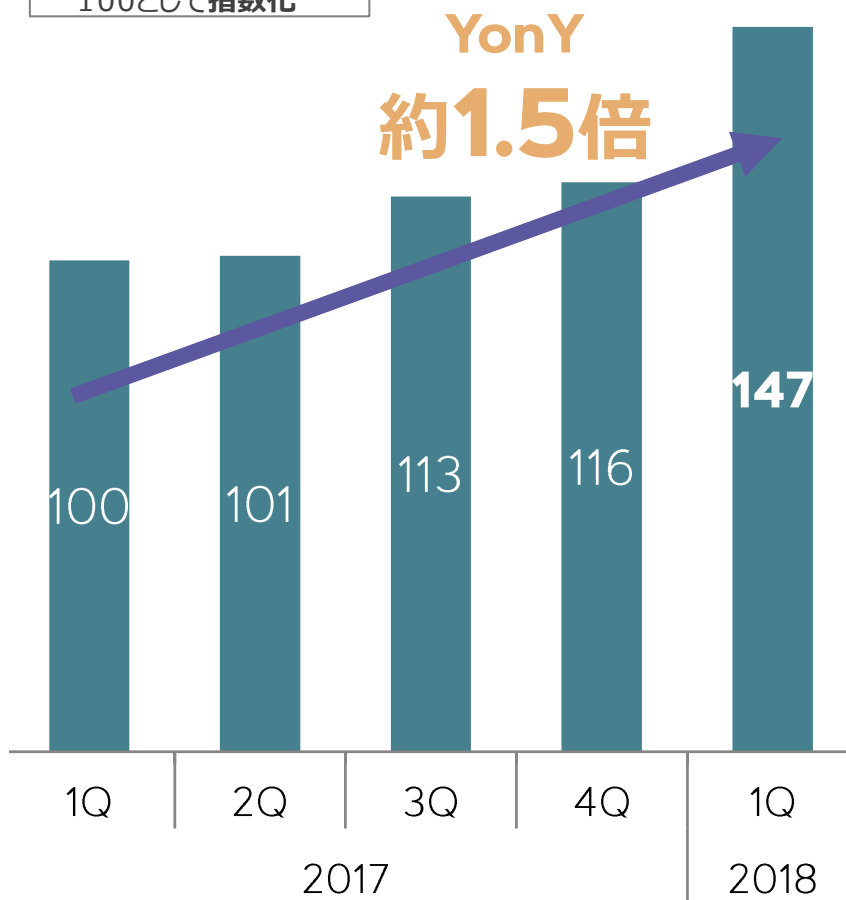
● 取扱高は前年同期比で高成長を維持



- ブランド広告の収益が順調に拡大

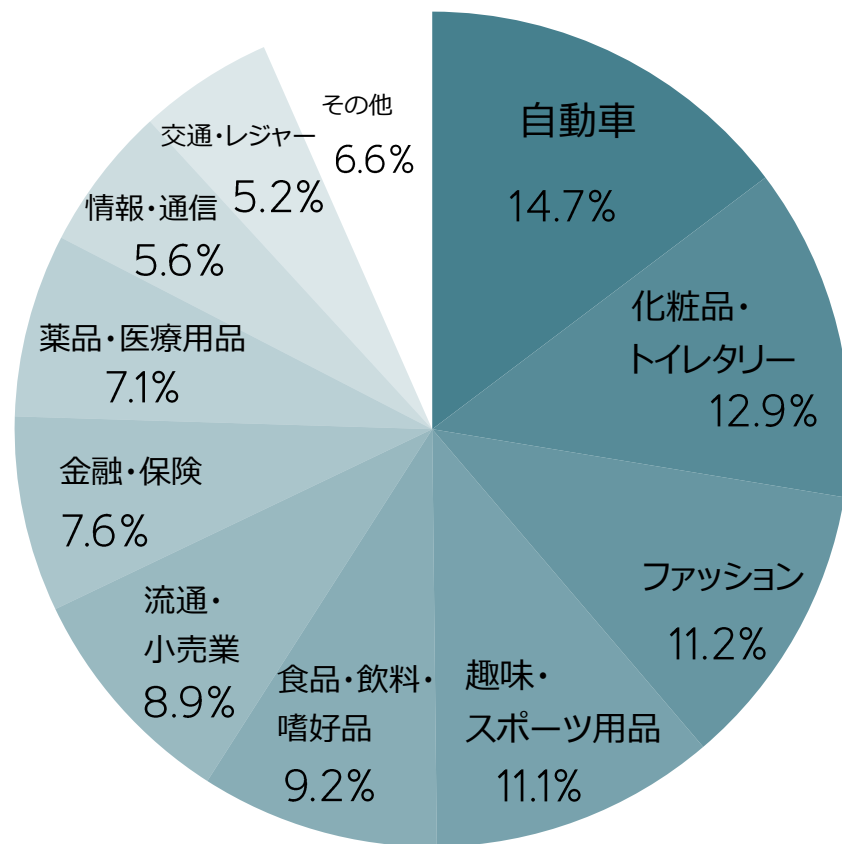
収益推移

※2017/1Qの収益を
100として指数化



ブランド広告収益に対する業種別割合

※2017年10~12月

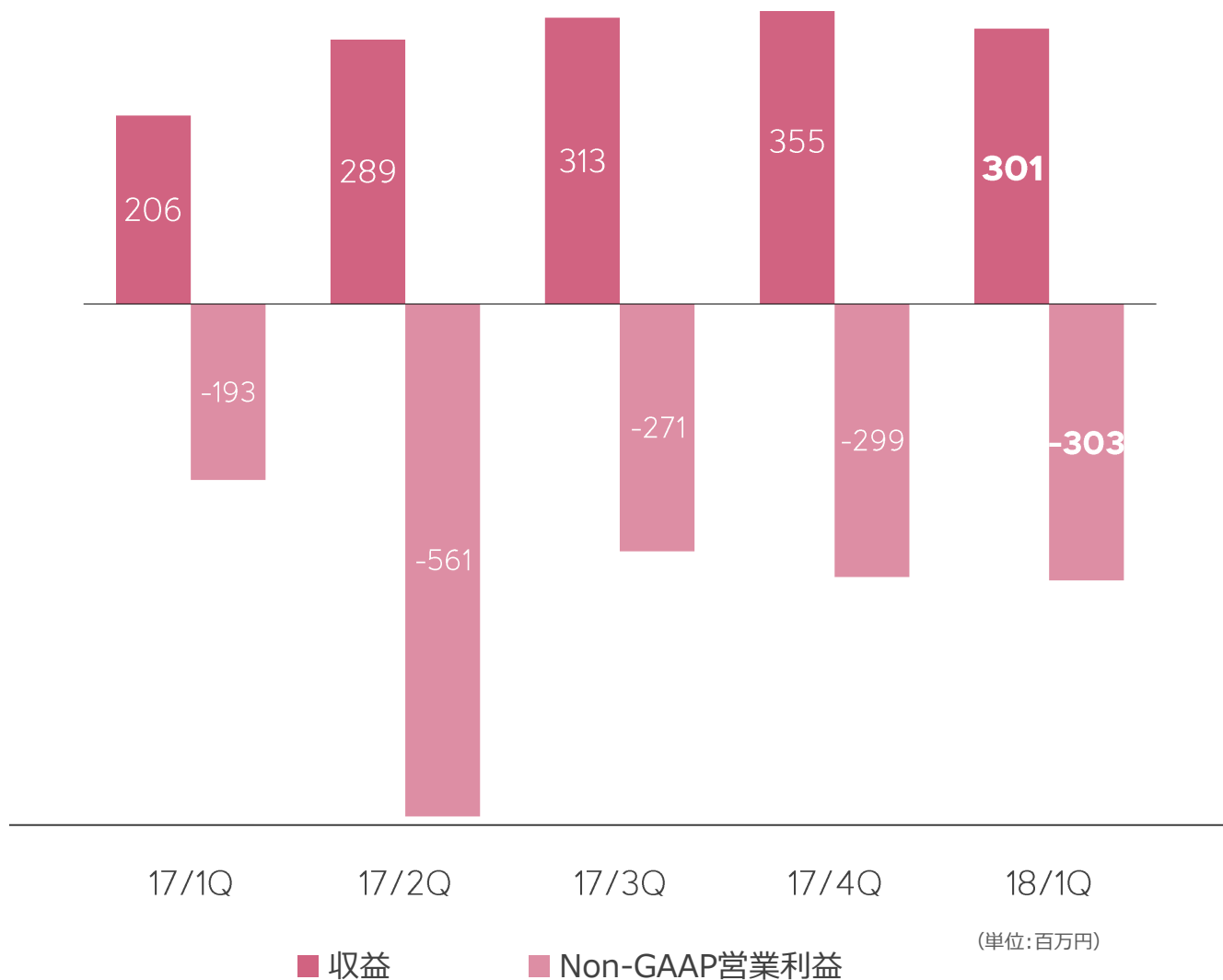


3. メディアコンテンツ事業

- マンガコンテンツ事業はGANMA！における広告商品の拡販が進み、広告収益が増加
- ブランド広告キャンペーンの増加が増収に貢献

(単位:百万円)	2018年9月期 1Q			2017/9期 1Q (前年同期)		2018/9期 2Q累計 業績予想	進捗率
	金額	比率	前年同期比	金額	比率		
収 益	301	100.0%	+46.5%	206	100.0%	800	37.6%
売上総利益	166	55.0%	+34.1%	123	60.1%	—	—
販売管理費	469	155.8%	+48.5%	316	153.7%	—	—
Non-GAAP 営業利益	-303	-100.7%	-110	-193	-93.9%	-570	—

- GANMA！では、オンライン広告を中心に先行投資を継続
- その他新規事業が軟調に推移し、前四半期比では減収

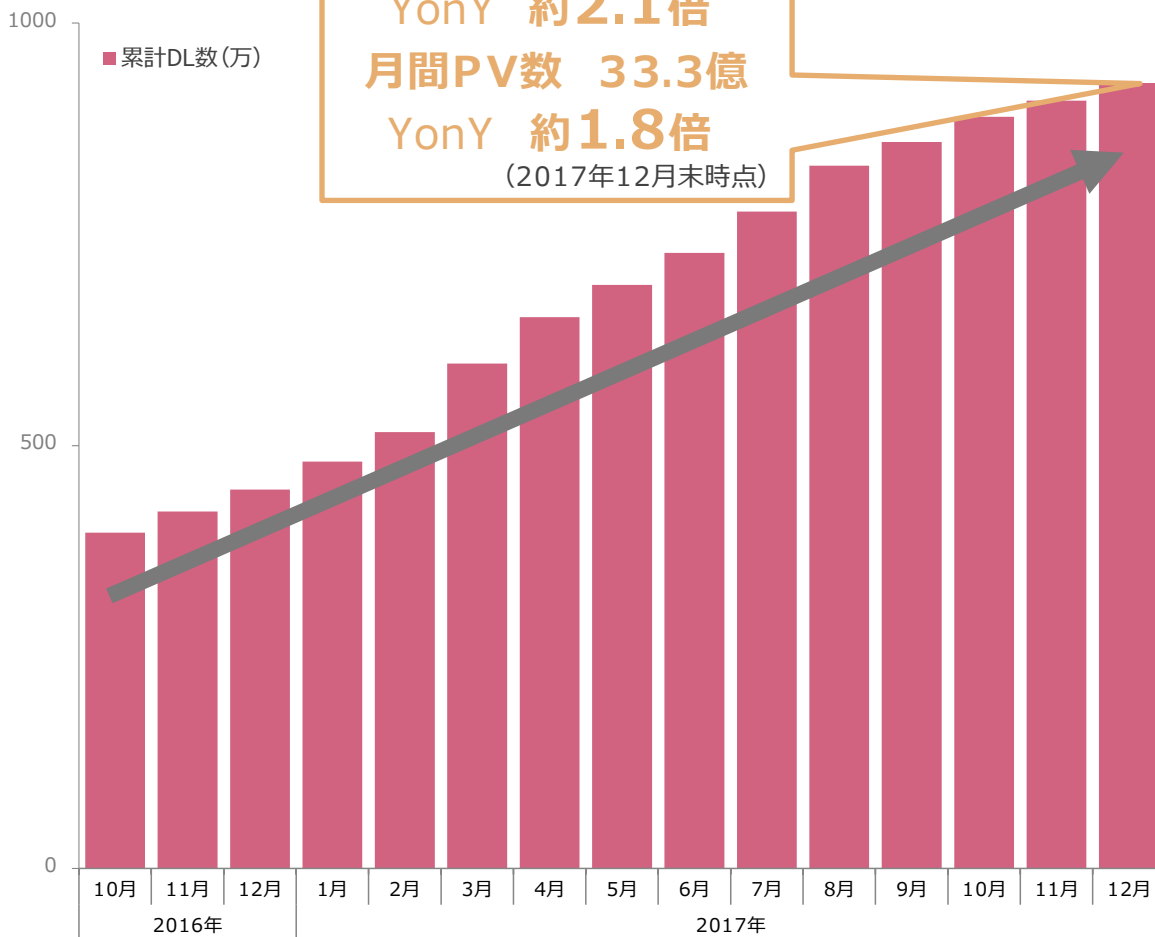




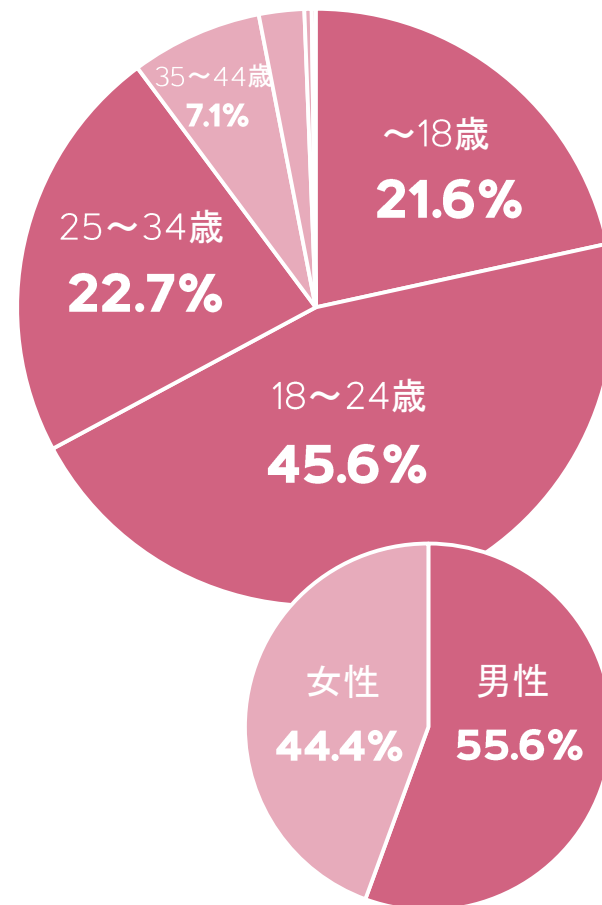
10代～30代を中心に安定的にユーザを拡大

GANMA! 累計DL数の推移

累計DL数 **929万**
 YonY **約2.1倍**
 月間PV数 **33.3億**
 YonY **約1.8倍**
 (2017年12月末時点)



GANMA! ユーザ層



※2017年12月末時点、GANMA! 会員データ

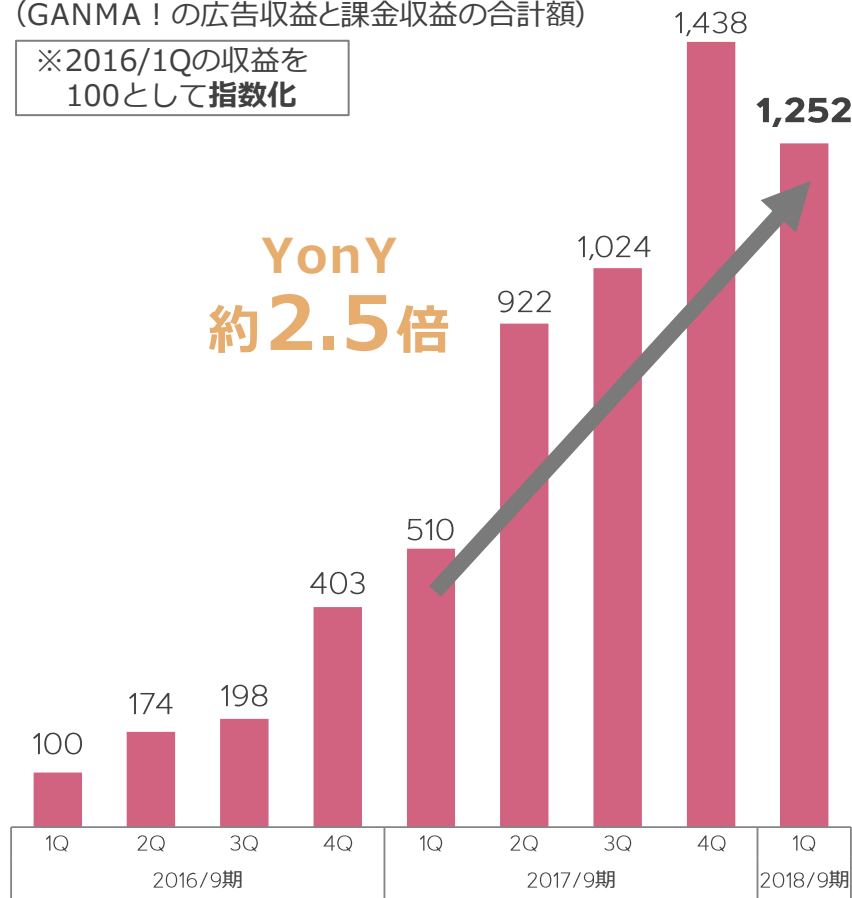


GANMA! ブランド広告市場の開拓を推進し、アプリ収益は前年同期比**2.5倍**

アプリ収益の推移

(GANMA! の広告収益と課金収益の合計額)

※2016/1Qの収益を
100として**指数化**



ブランド広告市場の開拓



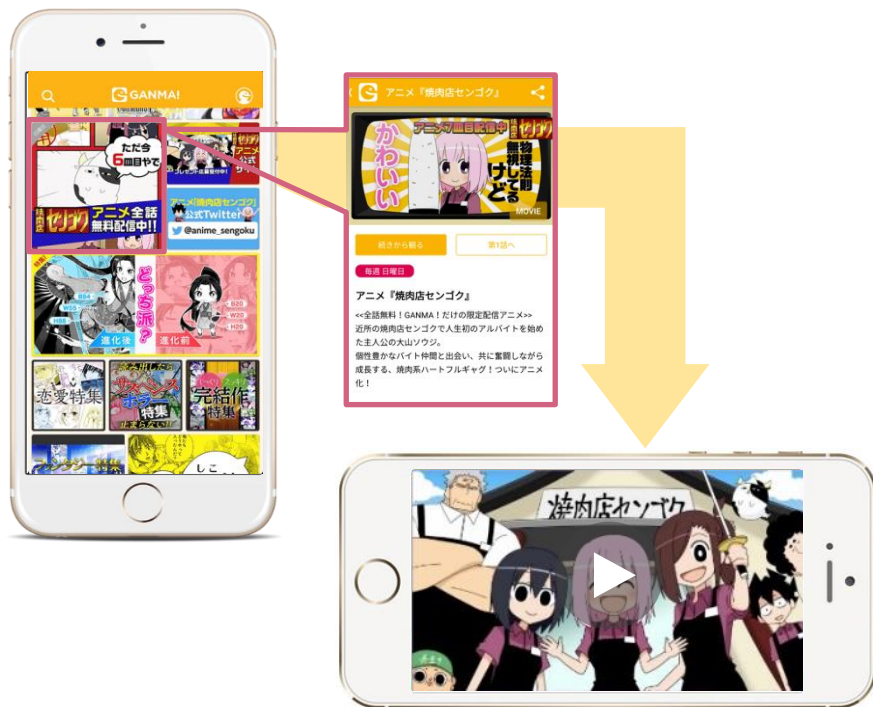
■ 株式会社資生堂様
広告掲載事例





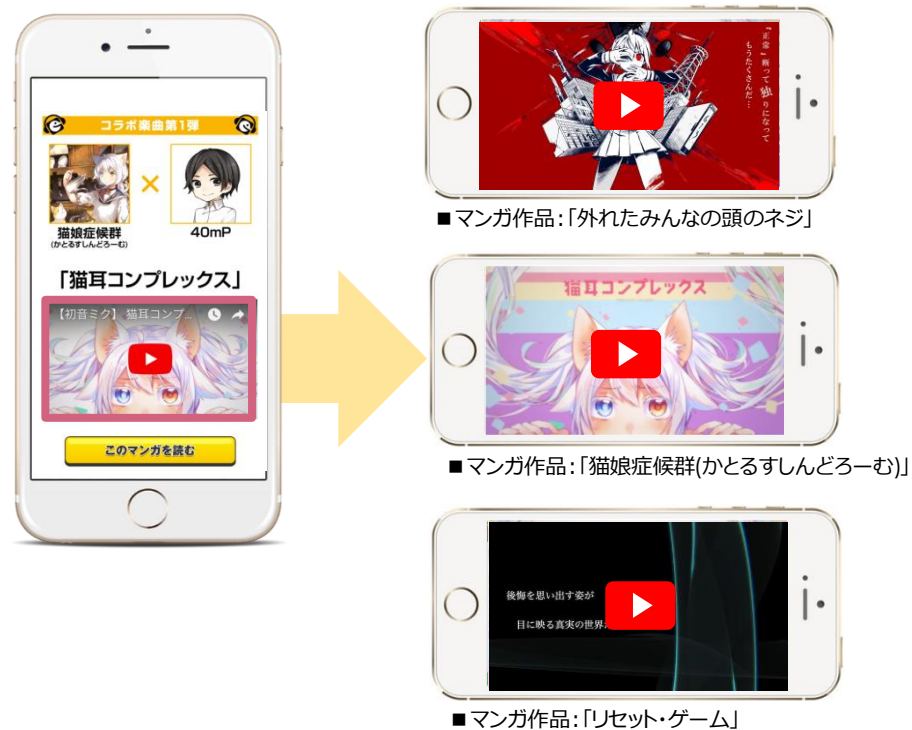
コンテンツのリッチ化によるユーザ体験向上を目指した取り組みを展開

人気コンテンツのアニメ制作・アプリ内配信



■マンガ作品:「焼肉店セングク」

マンガを音楽で楽しむコラボ楽曲の配信



■マンガ作品:「外れたみんなの頭のネジ」

■マンガ作品:「猫娘症候群(かとりすしんどろーむ)」

■マンガ作品:「リセット・ゲーム」

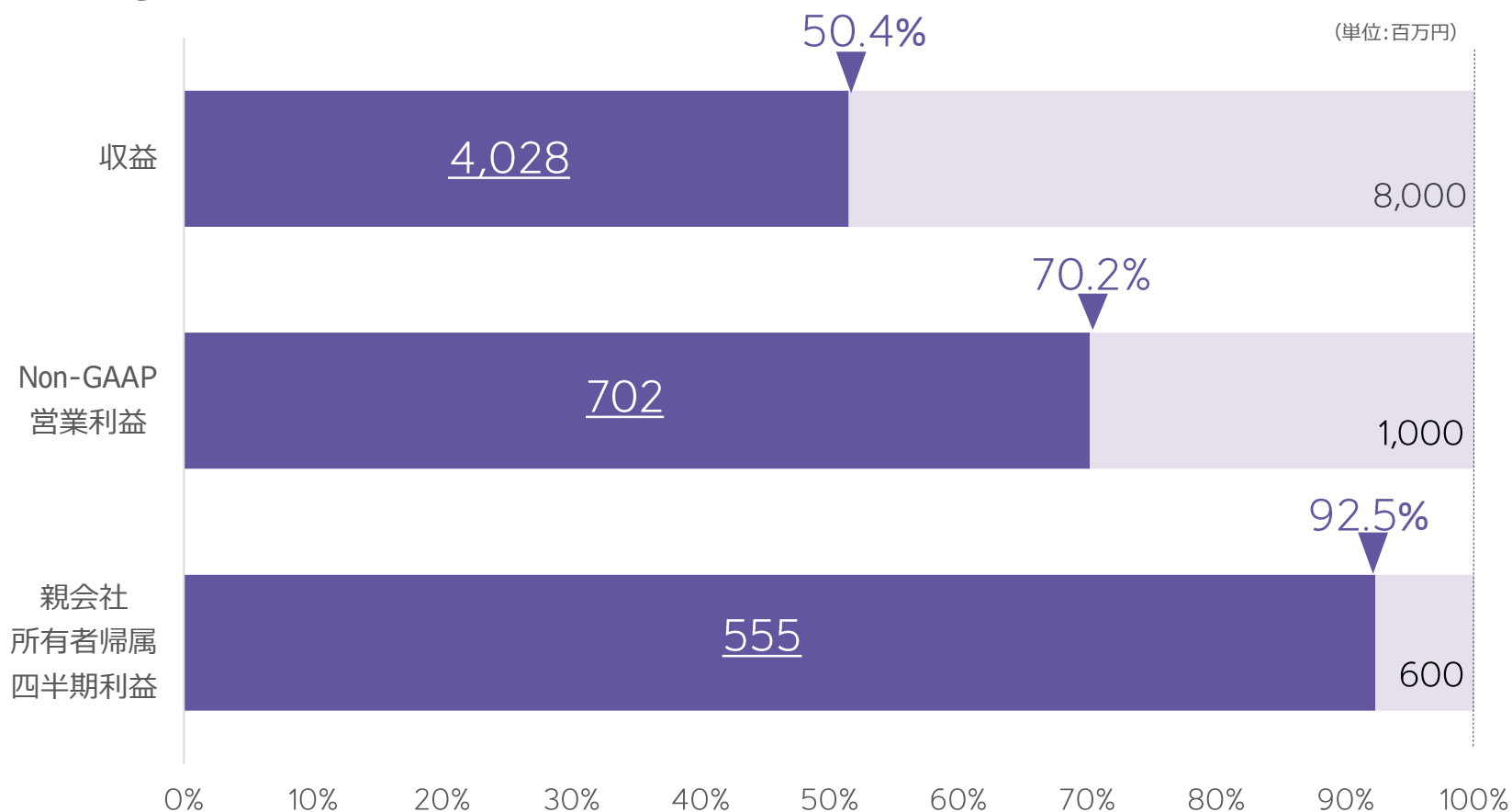
2017年12月17日～2018年1月25日時点
累計再生回数: **約61万回**

2017年10月27日～2018年1月26日時点
累計再生回数: **約166万回**
(3作品の合計)

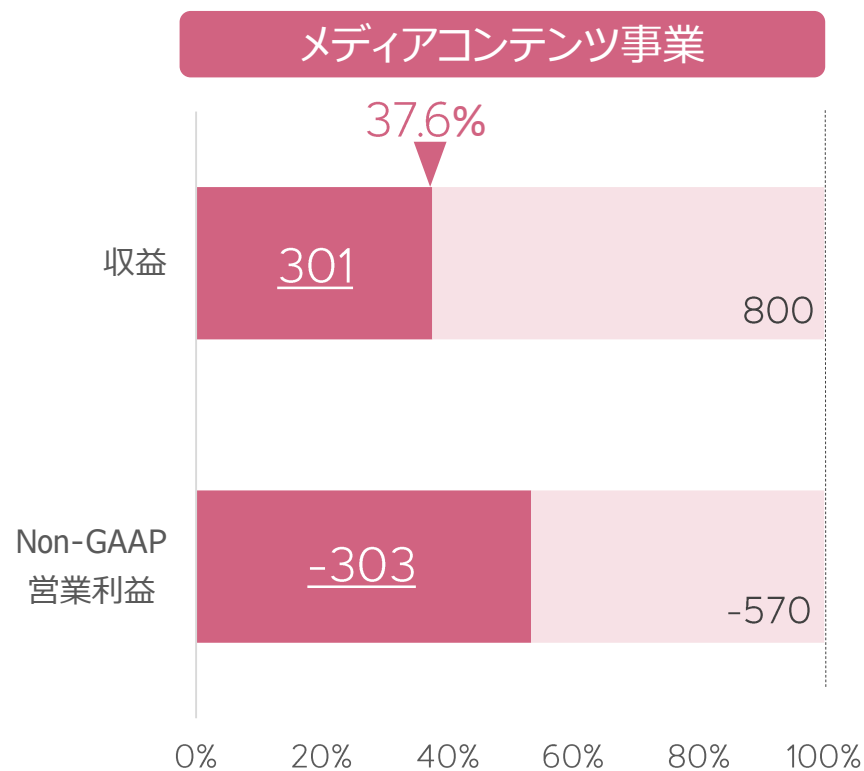
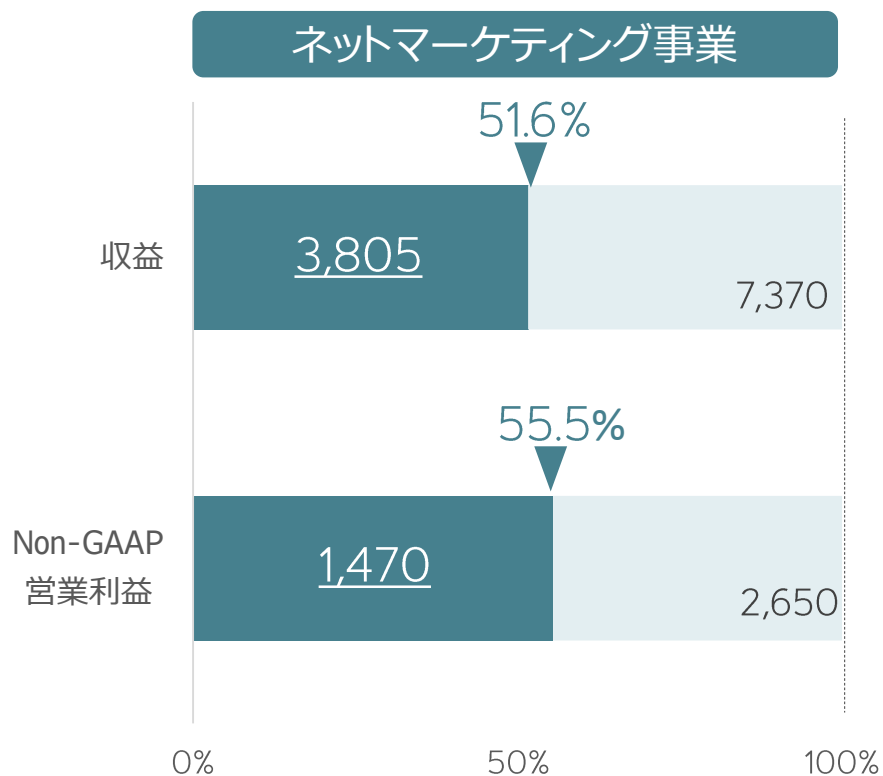
4. 業績予想に対する進捗状況

- 2018年9月期より業績予想開示方針を変更しております。引き続き予測困難な市場環境の変動要素は存在するものの、近年と比較し、足元では一定程度将来の見通しが立てやすい状況となったことなどを総合的に判断し、四半期毎に翌四半期業績予想を開示する従前方針から、半期毎の業績予想を開示する方針に変更を行うものであります。

- 人材やメディアコンテンツ事業への投資を継続しつつ、主力のネットマーケティング事業の収益拡大により堅調に業績が進捗
- アクセルマーク株式の一部売却により、持分法投資利益を計上
- 2Qは増床やリモートワーク環境整備に関連した費用等の増加を見込み、2Q累計連結業績予想は据え置く

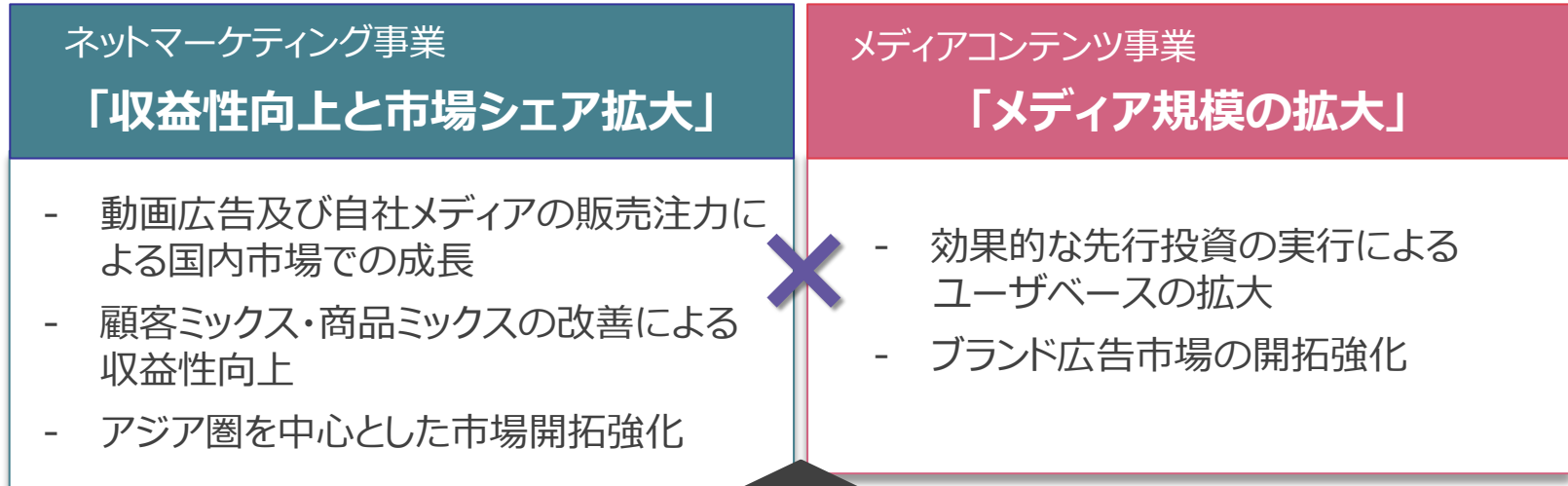


- ネットマーケティング事業は2Qにおいても堅調な推移を見込む
- メディアコンテンツ事業は、2Qも一定のプロモーション投資を継続、メディア規模の拡大を推進



(単位:百万円)

- 海外を含めたネットマーケティング事業の着実な収益性の向上
マンガコンテンツ事業でのメディア規模拡大を目指し、投資を継続



経営基盤「継続的な人材投資による競争力の強化」

- 2017年10月より人事制度改定による人材投資と競争力強化
成長の源泉となる人材への積極的な投資実行、業績連動賞与分のコスト増を見込む

本日はありがとうございました。

お問い合わせ先

株式会社セプテーニ・ホールディングス

www.septeni-holdings.co.jp

経営企画部 IR課

TEL:03-6857-7258 E-mail: ir@septeni-holdings.co.jp

このプレゼンテーション資料に記載された弊社の将来に関する意見や予測及び計画は、2018年2月1日現在の弊社の判断であり、その正確性を保証するものではありません。
世界情勢の変動に関わるリスクやその他様々な不確定要因により、実際の業績が記載の予測と大きく異なる可能性があります。

5. 補足資料

2017年12月31日現在

会社名	株式会社セプテーニ・ホールディングス
代表者	代表取締役 グループ社長執行役員 佐藤 光紀
所在地	東京都新宿区西新宿8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー
証券コード	4293 (JASDAQ)
事業内容	インターネット事業を中心に事業展開する企業グループを統括する持株会社
設立日	1990年10月29日
資本金	2,114百万円
発行済株式数	138,820,500株 (うち自己株式10,724,155株) [※]
連結従業員数	1,338名(従業員) うち1,091名(正社員)

※役員報酬BIP (Board Incentive Plan) 信託が保有する当社株式1,739,200株は含んでおりません。

純粋持株会社

(株)セプテーニ・ホールディングス

2018年2月1日現在

ネットマーケティング事業

(株)セプテーニ	インターネット広告事業 インターネット上のプロモーション全般支援	Septeni Asia Pacific Pte. Ltd.	アジア太平洋地域における インターネット広告事業
Septeni Japan(株)	日本におけるインターネット広告事業	Septeni America, Inc.	北米地域における インターネット 広告事業
MANGO(株)	SEMオペレーション	Septeni Europe Co.,Ltd	欧州地域における インターネット 広告事業
(株)ハイスコア	スマートフォンマーケティング支援事業	七域広告(北京)有限公司	中国におけるインターネット広告事業
(株)セプテーニ・オリジナル	ウェブサービスの企画・開発	SEPTENI TECHNOLOGY CO., LTD.	ウェブサービスの開発等
Septeni Ad Creative(株)	インターネット広告 クリエイティブの企画・制作	JNJ INTERACTIVE INC.	韓国におけるインターネット広告事業
(株)セプテーニ・クロスゲート	アフィリエイトネットワーク	Lion Digital Global LTD	東南アジア地域における インターネット広告事業
トライコーン(株)	CRMサービス事業		

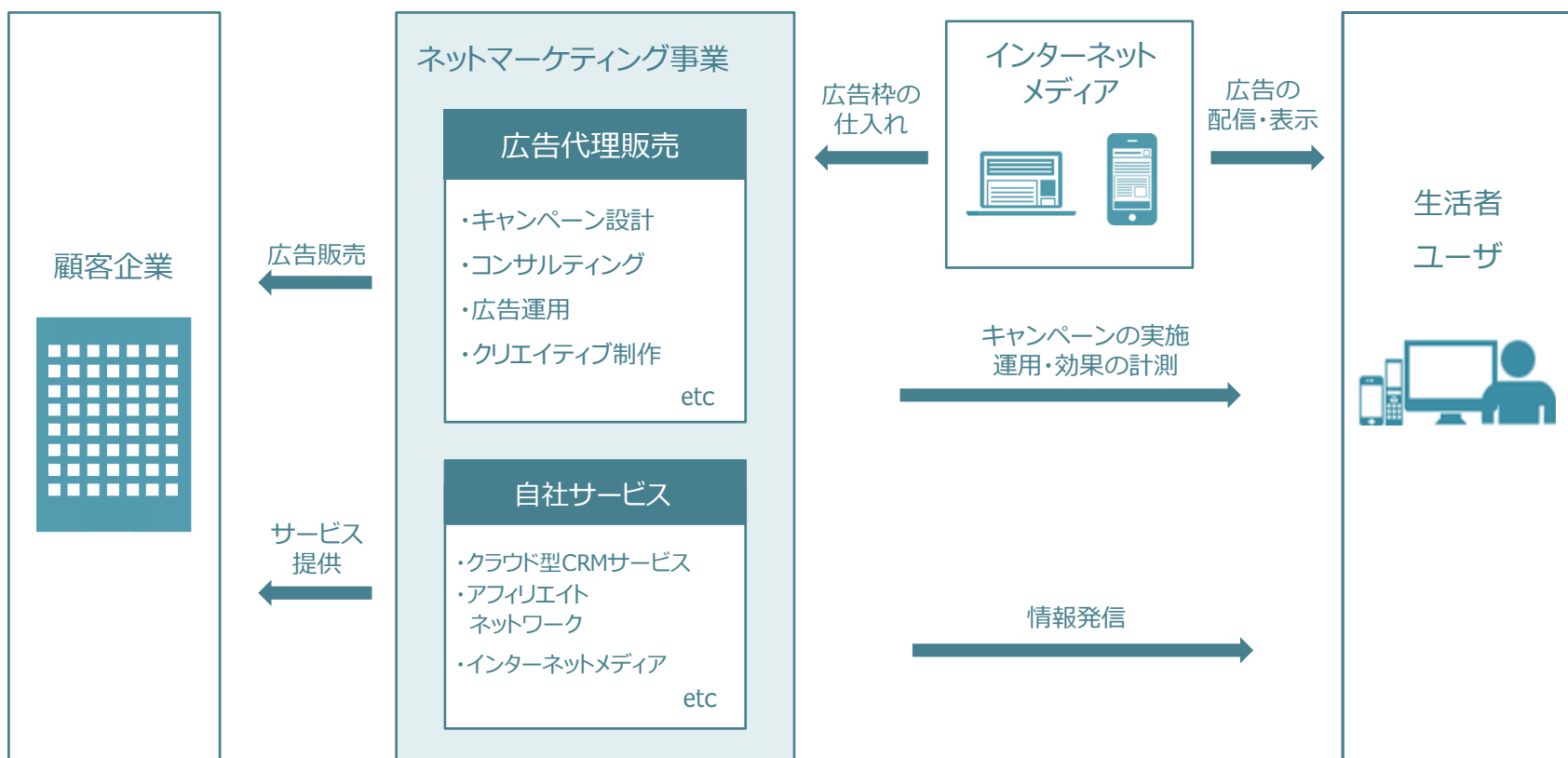
メディアコンテンツ事業

コミックスマート(株)	マンガコンテンツ事業	g o o d d o (株)	社会貢献プラットフォーム事業
(株)ビビビット	採用プラットフォーム事業	(株)P h a r m a r k e t	医療プラットフォーム事業

新規事業開発

(株)セプテーニ・ベンチャーズ

インターネットを活用した包括的な**マーケティング支援サービス**を企業向けに展開。
 スマートフォン向けを中心としたインターネット広告の販売をはじめ、
自社サービスとしてクラウド型CRMサービスやアフィリエイトネットワーク等
 マーケティングプラットフォームの運営を手がける。



「マンガコンテンツ事業」では、**自社IP (知的財産) の企画・開発**を目的にマンガ家の育成・支援を手がけるとともに、専属作家によるオリジナル作品を中心に構成されたマンガアプリ「GANMA！」を**自社メディア**として運営。

その他に、社内ベンチャーから生まれた新規事業として、「採用」「社会貢献」「医療」に関するプラットフォーム型の事業等を展開。

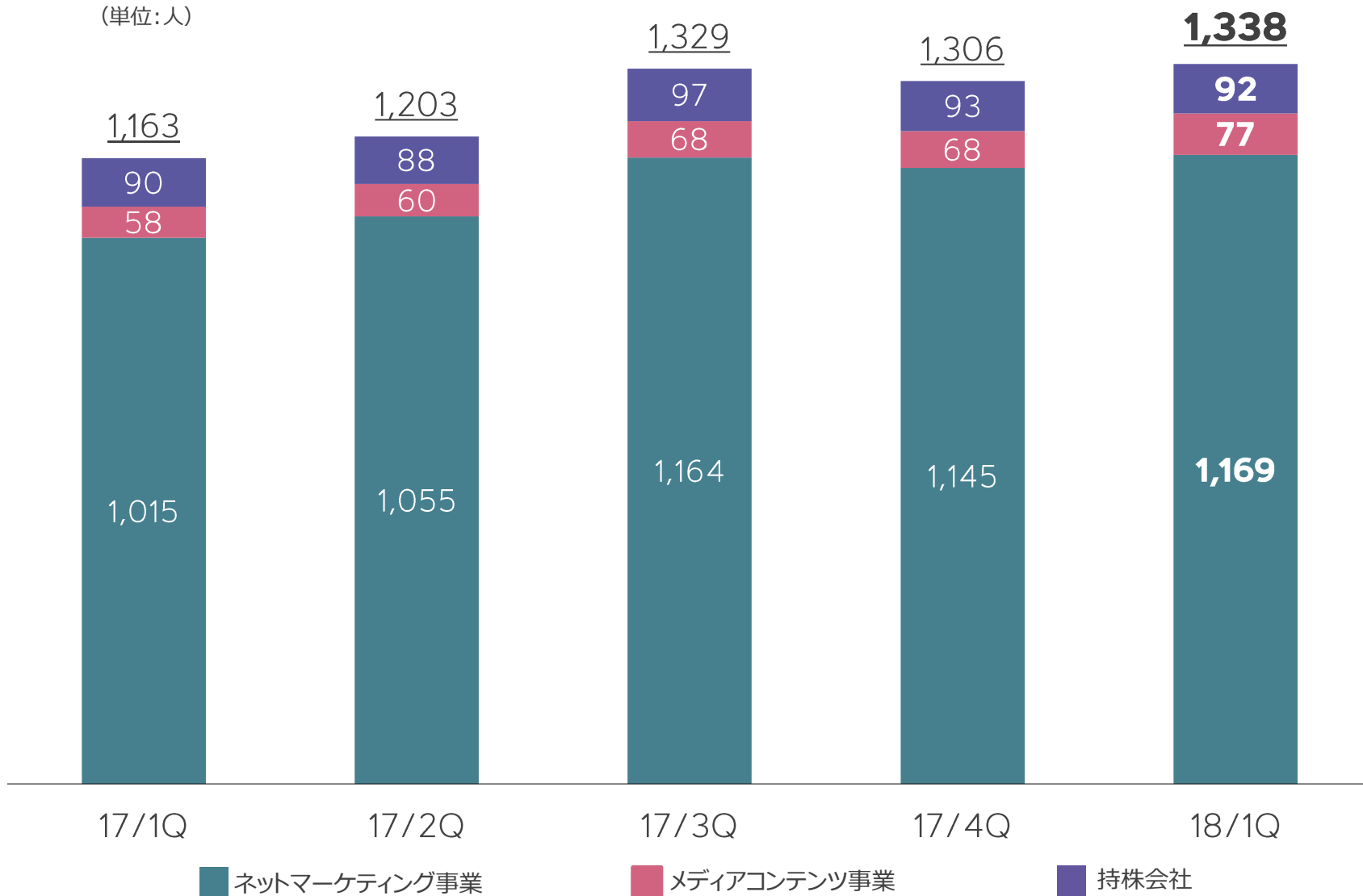


	2018年9月期 1Q末	2017年9月期 期末	増減	主な変動
(単位:百万円)				
流動資産合計	26,280	26,272	+8	
非流動資産合計	6,821	6,656	+165	持分法で会計処理の投資△241 その他金融資産+284
資産合計	33,101	32,929	+172	
流動負債合計	13,668	13,387	+281	未払法人所得税△310 その他流動負債△233 その他の金融負債+1,011
非流動負債合計	4,012	4,319	△307	その他の金融負債△243
負債合計	17,680	17,705	△25	
資本合計	15,420	15,224	+197	配当金支払△410 四半期利益計上+555
負債・資本合計	33,101	32,929	+172	

(単位:百万円)

	2018年9月期 1Q(10-12月)	主な内訳	2017年9月期 1Q(10-12月)
営業活動による キャッシュ・フロー	142	継続事業からの税引前四半期利益+853 法人所得税の支払い△298 運転資本△296	△880
投資活動による キャッシュ・フロー	217	有価証券の取得△272 関連会社株式の売却+372	△1,775
財務活動による キャッシュ・フロー	△435	配当金の支払い△410	△899
現金及び現金同等物に 係る換算差額	35		76
現金及び現金同等物の 増減額	△41		△3,478
現金及び現金同等物の 期末残高	15,478		12,003

(単位:人)



NEW

2018年1月より、リモートワークトライアル開始

「誰もが時間も場所も選ばず、価値ある仕事で、自立して活躍している状態をつくる」
をビジョンに掲げ、多様な働き方の実現へ

◆リモートワーク本格導入に向けた検証トライアル @テレワーク実験スペースLABO

